

PRESS RELEASE

Edmund Optics® が II-VI 社と協業し赤外用オプティクスを拡充 赤外用オプティクスが短納期で入手可能に

2019年4月(東京都文京区) – 米国 Edmund Optics® (EO) の日本法人、エドモンド・オブティクス・ジャパン株式会社は、ジンクセレン (ZnSe) 製光学部品の短納期供給に向け、II-VI 社と協業することを発表した。EO では現在、[ジンクセレン \(ZnSe\) 平凸レンズ](#)、[ジンクセレン \(ZnSe\) 非球面レンズ](#)、[CO₂ レーザー用ビームエキスパンダー](#)、[レンズストレスアナライザー](#)を新製品としてラインナップしている。



今回の協業によって、設計、試作、生産のプロジェクトサイクルを通じて、赤外 (IR) アプリケーション用の光学部品の調達がこれまで以上に容易になった。

TECHSPEC® ジンクセレン (ZnSe) 平凸レンズは、EO が設計し、II-VI 社が 10.6μm において <0.0005cm⁻¹ のバルク吸収率をもつプレミアグレードのセレン化亜鉛材料を用いて製造する。未コート、もしくは 8-12μm または 3-12μm 用の広帯域反射防止膜付きをラインナップしている。10.6μm で < λ/20 のイレギュラリティと <50Å の表面粗さにより、精密 IR アプリケーションに最適となる。

TECHSPEC® ジンクセレン (ZnSe) 非球面レンズも、上記平凸レンズと同様に EO が設計し、プレミアグレードの ZnSe から製造されている。ZnSe 平凸レンズと同じ表面仕様で 8-12μm 用の AR コーティングをオプションで用意するが、TECHSPEC® ジンクセレン (ZnSe) 非球面レンズは最小の集光スポットサイズを実現する回折限界性能を実現する。

CO₂ レーザー用ビームエキスパンダーは、10.6μm のハイパワー CO₂ レーザービームをコリメートし、エネルギー分布を改善するために、より高いグレードの ZnSe 光学素子から製造されている。このビームエキスパンダーは、最小のビーム偏差と、10.6μm で一面当たり <0.1% の吸収率を実現する AR コーティングの採用により、99.4% の透過率が得られる。

また、今回 EO が販売する II-VI 社製新製品の最後となるのはレンズストレスアナライザー。偏光板のクロスニコル構成を利用して機械的ストレスや熱的ストレス、またコンタミを特定する。この製品は、日本国内ではコンパクトなスマートフォン装着モデルを販売する。

本製品の詳細は、下記ウェブページをご覧ください：

<https://www.edmundoptics.jp/f/Zinc-Selenide-Plano-Convex-Lenses/39481/>

<https://www.edmundoptics.jp/f/Zinc-Selenide-ZnSe-Aspheric-Lenses/39483/>

<https://www.edmundoptics.jp/f/CO2-Beam-Expanders/39479/>

<https://www.edmundoptics.jp/f/Lens-Stress-Analyzers/39482/>

About Edmund Optics, Inc.

Edmund Optics® (EO) は、光学部品、画像、フォトンクス技術のリーディングカンパニーです。R&D、エレクトロニクス、半導体、製薬、バイオメディカルなど、世界中のマーケットをサポートしています。EO の製品は、DNA 分析から網膜による個人認証、また高速 FA 用途に至るまで、幅広いアプリケーションに用いられます。EO 最新の製造ケイパビリティとグローバル物流ネットワークの融合により、光学部品を在庫販売する No.1 サプライヤーとして、市場で認知されています。日本のお客様は、現地法人のエドモンド・オブティクス・ジャパン株式会社がサービスいたします。当社の製品ラインナップは、EO の日本語版総合カタログ、或いはウェブサイト (www.edmundoptics.jp) をご覧ください。